

「熱い心」 ～日本一熱く、絆強き学校への道～



相手に感動を与える「心配り」！ ～種田東中に学ぶ～

1階東男子トイレの手洗い場にさりげなく置かれている1つのトイレトーパーに気づけている人はいるかな？わざわざ一中まで試合に来てくれた大分市の種田東中学校野球部が、こんな「心配り」を逆にしてくれているんだね。本当に素晴らしい選手たち、保護者の皆様、指導者だよ。心が熱くあたたかくなる配慮、心配りに、感動。この1つの

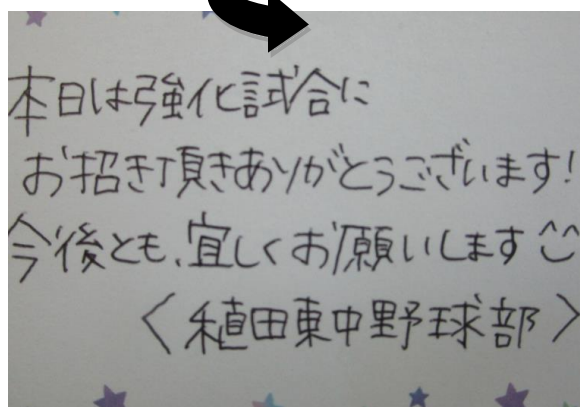


トイレトーパーからは、多くのことを学ぶことができるね。細かなところまで気づく「目配り」、その先のことを考える「気配り」、そして何よりも相手に感動を与える「心配り」。相手のことを思い、相手の立場になって考え、相手の心に寄り添って行動する「心配り」。大切なことを種田東中学校から教えていただいた。本当にありがとうございました。

さあ、いただいたこの「心配り」をわが一中でもどんどん広げていきたいね。仲間の様子がいつもと違うなと気づく「目配り」。気になって「大丈夫？」

「困ってない？何か手伝おうか？」と話を聴いたり、手を貸したりする「気配り」。仲間の立場になって、心に寄り添おうとする「心配り」。そう、

「一人も取りこぼさない絆づくり」に絶対に欠かせないことばかりだね。ラスト3週間余りの一中熱血物語・第一章をもっともっと質の高いものにしていこう。大切にしたいことにはとことんこだわれ。この196人で新たな学校文化を創る！



落ちていたゴミに気づいて拾ってくれる人、さりげなく乱れたトイレのスリッパを整えてくれる人…、目立たないところで学級や集団のために動いてくれている人が一中にはたくさんいるね。とてもうれしいことだ。互いの「気づく力」が集まり、関わり合い支え合う教室は、あたたかくて、とても居心地がいい。目線を上げて周りを見てみよう！君を必要としている仲間がきつといるぞ。誰もが皆、明日も来なくなる学校へ。これも大切な「日本一熱く絆強き学校」の学校文化。

力を出し切れ！ 出し切らないと力は増えない。人間力とはそんなもんだ。人間は全力を出すから力が増える。全力で乗り越えてこそ、思いがけないことが起きる！…さあ、期末テストもあと1日。最後まで「努力」を出しきっていこう。